

トンネルコンポスト方式による三豊市燃やせるごみのリサイクル

施設全景



ごみの破碎



固形燃料原料



選別設備



私たち株式会社エコマスターは、2017年(平成29年)よりトンネルコンポスト方式による「バイオマス資源化センターみとよ」を運営しています。

ここでは、三豊市内の家庭や事業所で発生する燃やせるごみの全量を受け入れリサイクルを行っています。

トンネルコンポスト方式とは、燃やせるごみを微生物の力で発酵・乾燥させて生ごみなどを分解、残った紙やビニール・布などを固めて固形燃料にする新しいごみ処理のことです。

固形燃料は製紙工場などで石炭の代替として利用されます。燃やせるごみを燃やさないでCO₂排出を抑制し、リサイクルした固形燃料が石炭の代わりに使用され化石燃料の使用を抑えるので、さらにCO₂が削減されます。

今後とも三豊市の皆さんが出した燃やせるごみを安心・安全にリサイクルし、脱炭素・SDGsの達成に貢献していきたいと思ひます。

見学受入・出張授業・各種公演



私たち株式会社エコマスターの「バイオマス資源化センターみとよ」には、地域の方、小学校の社会見学、行政関係者、同業他社など多くの方が見学・視察に来られます。

日本初のトンネルコンポスト方式の経緯や処理方法の説明、施設紹介のDVD、実際の工場内の見学、質疑応答など、皆様に理解して頂きたく説明しております。

またご要望に応じて学校へ出向いて授業もしております。SDGsの達成に向けて「ごみ」という切り口から、リサイクルの歴史やこれからのごみ処理などお話をさせて頂いております。

大学や市民団体、行政が主催するセミナー・公演にも参加させて頂いています。三豊市内外を問わず、新しいごみ処理で脱炭素・SDGsに貢献していきたいと思えます。